

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022005

プロジェクト名 「日大生をつなぐ『桜プラットフォーム』をつくろう！」

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、学部やサークル等を越えた日大生の交流を促すことを目的に立ち上がり、6学部13名の学生が集結し、日大生限定のオンライン交流の場「桜LINKS」をつくった。コロナ下で学生や学部間の対話の機会や連携の場が減り、大学にあるはずの多様な人とつながり刺激を受け合う環境が十分になかった課題に対して、場所や時間を問わず、気軽に交流できるオンラインの強みを活かし、アプリを用いて、サーバーをつくることを企画した。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトの成果として、コミュニティ系のアプリ「Discord」を用いて、日大生のみが使えるサーバー「桜LINKS」をつくることができた。2023年2月現在、87名が登録している。サーバー内では、主に3つの機能を取り入れた。第1に、学部を越えて学生間が気軽にチャットや情報交換ができる場（「たまり場」や「就活相談室」等）をつくった。第2に、交流を通じて、新規にサークルやプロジェクトを立ち上げることができる仕組みをつくった。第3に、学生同士の勉強の場として「オンラインカレッジ」をつくった。

9月中旬に登録を開始し、約6か月間、運営してきた。結果として、たまり場では、複数の学生同士のチャットが見られた。また、新規のサークルが数件立ち上がった。しかし、発信する学生は限定的で、オブザーバーとしての学生が多いことが現状である。1月に、イベントとして「オンラインゲーム大会」を開催したが、参加者は運営メンバーを除き、1名であった。原因として、学生のニーズがつかめていないことや交流の目的が具体的になっていなかったことが考えられる。

本年度は、サーバーを立ち上げ、運営をするところまで行うことができた。しかし、実際の交流については、まだ初期段階であり、今後は、テーマや目的を具体化させ、コミュニティ内の交流を促せるように導いていく必要がある。そこで、来年度は、同じ思いをもった学生団体やサークルと協力し、グループ同士の交流も考えていきたいと思う。

本プロジェクトを通じて、メンバーの強みを活かした役割分担の大切さやオンラインコミュニティの運営責任の大切さを学ぶことができた。立ち上げたメンバーの想いを来年度にしっかりと引き継ぎ、再度、目的や方向性を話し合い、学生たちの有意義な大学生活に貢献できるように活動を進めていきたい。

活動写真



活動は全てオンラインで行ったため、撮影を行うことができなかった。チームで制作したものとして、左から順に、ロゴ、宣伝ポスター、Discord入手方法を説明したYouTube動画がある。